



最優秀賞 「雨あがり」  
撮影者 錦織 育子氏

### 講評

犬の散歩中、偶然出くわした情景をうまく表現しています。視線を誘導しながら雨上がりの一瞬、空気感、臨場感を伝えています。まさに、日常の決定的瞬間。

## 今回の内容

出雲平野の築地松景観フォトコンテストの結果  
令和6年度の主な事業概要

- フォトコンテスト審査委員会・表彰式
- 陰手刈り技術研修会の実施
- 松苗の無料配布
- ボランティアガイド
- 全国散居村サミットの開催

# 出雲平野の築地松景観 フォトコンテストの結果



築地松景観保全対策推進協議会の設立 30 周年を記念し、「出雲平野の築地松景観フォトコンテスト」を開催したところ、全国から 92 作品の応募がありました。ご応募いただきました皆さま、ありがとうございました。

また、令和 7 年 1 月 20 日 (月) に審査委員会を開催し、以下のとおり入賞作品 24 作品を決定しました。

## 審査結果 (敬称略)

**最優秀賞** (1 作品) ■「雨あがり」 錦織 育子 (出雲市) ※表紙掲載

**優秀賞** (5 作品、順不同)



■「風物詩」(組写真) 藤江 松男(出雲市)



■「初夏の朝」  
品川 清一(出雲市)

■「蛙の歌声が聞こえる」  
村川 節秀(鳥取県米子市)

■「くよし」  
藤原 静雄(雲南市)



■「まつりの日」(組写真) 錦織 淳(出雲市)

**特別賞** (3 作品、順不同)

■「早朝の水田」 三島 栄(出雲市)

■「僕と私の築地松」 万代 丸美(出雲市)

■「ふるさと」(組写真) 吉岡 正行(出雲市)

**入選** (15 作品、順不同)

■「月夜に浮ぶ築地松」 嶋田 慎司(出雲市)

■「夕暮れ時」 門脇 正晃(千葉県松戸市)

■「築地松四態」(組写真) 喜多村 實(出雲市)

■「白話草の道」 児島 巧(松江市)

■「夕焼けリフレクション」 村川 香織(鳥取県米子市)

■「防風」 布野 文子(出雲市)

■「季節風を防いで」 枝広 光則(広島県福山市)

■「守る勇姿」 田村 啓子(松江市)

■「故郷の築地松」 錦織タケル(兵庫県神戸市)

■「霧の朝」 原 実生(出雲市)

■「帰り道」(組写真) 竹下 朗(出雲市)

■「田植が終って」 林 悟(出雲市)

■「春の旅」 勝部美智夫(出雲市)

■「帰路」 杉谷 拓哉(兵庫県神戸市)

■「師走の薄明に現ずるコーラス」 岩崎 創真(岡山県岡山市)

# 令和6年度の主な事業概要

## フォトコンテスト審査委員会・表彰式

令和6年12月2日（月）に応募を締め切った後、令和7年1月20日（月）に審査委員会を開催しました。写真家の古川誠氏を審査委員長とし、協議会会長、副会長など9名の審査委員により入賞作品が選ばれました。四季折々の築地松景観が様々な角度から表現

豊かに撮影されており、甲乙つけがたい作品がいくつもありましたが、最終的には臨場感や空気感、物語性が伝わってくる作品が選定されました。

また、令和7年2月19日（水）に表彰式を実施し、最優秀賞及び優秀賞を受賞された皆さまに表彰状を直接授与しました。

入賞作品は、今後、パネル展示をはじめとした築地松景観のPRに活用します。



表彰式記念撮影



審査委員会の様子

## 陰手刈り技術研修会の実施

築地松の剪定（陰手刈り：のうてごり）を行うことのできる職人は、減少傾向にあります。このような中で協議会では、陰手刈りの基本的な知識と技術、作業中の安全対策等を学ぶ機会として、陰手刈り技術研修会を実施し、陰手刈り職人の後継者育成を図っています。

令和6年度は、令和7年1月18日（土）に、斐川町中洲地内で実施しました。

はじめに、座学講習を有信研修センターで行いました。NPO法人しまね樹木医会の佐藤講師及び槇野講師より、築地松の歴史や作業における安全対策について説明が行われました。

その後、屋外で墜落制止用器具（フルハーネス）を身に付け、築地松を所有されているお宅へ移動し、先久講師より長柄鎌の使い方や築地松の刈込み方をご指導いただきました。

当日は県内外より10名の方にご参加いただきました。天候に恵まれ、絶好の陰手刈り日和でした。



陰手刈り技術研修会（座学）の様子



フルハーネスを着用する受講者



鎌の使い方をレクチャー



陰手刈り技術研修会（実技）の様子

### 受講者の声

- 今回のような長柄鎌は使ったことがなかったので、貴重な経験になりました。
- 自宅に築地松があり、普段の剪定は脚立で行っていました。そのため、高所作業車での作業は安定性の高さを実感しました。

## 松苗の無料配布

協議会では、全国的に貴重な築地松を後世へ残していくため、松苗の無料配布を行っています。今年度は、希望者 30 名に 135 本の松苗を配布しました。

この度、松苗を補植される角森さんにお話を伺いました。角森さんは、先祖代々受け継がれてきた築地松を所有されており、その歴史は 300 年に近いとのこと。しかし、そのような歴史を持つ築地松も松くい虫の被害にあい、現在までに何本か伐倒されたそうです。

今回の配布に限らず、今までも何度か補植を行われたとのことですが、日当たりが悪いのか、他の松に栄養が吸われてしまうのか、思うように成長しなかったそうです。そこで現在では、ご自身の畑で、ある程度育成させてから築地松として植えなおされていました。

**(注意)** 配布した松苗は、他の松に比べて松くい虫への抵抗性が強いですが、枯れない松苗ではありません。枯らさないためには、防除対策を行う必要があります。



## ボランティアガイド



協議会では、築地松の基本的な情報や歴史について、築地松の見学をしながら解説を聞くことのできるボランティアガイドを、灘分町の稲田さんと斐川町の山根さんをお願いしています。

令和 6 年度も観光客やテレビ関係者、大学生など県内外からたくさんの方にお申込みいただきました。訪問された皆様には、ボランティアガイドを通じて、築地松の歴史や文化について、知見を深めていただきました。

ボランティアガイドにご興味をお持ちの方は、協議会事務局までご連絡ください。

## 第 16 回全国散居村サミット in 出雲の開催

散居村とは、出雲平野のように広大な耕地の中に民家が散らばって点在する集落形態で、その民家の多くが屋敷林に囲まれているのが特徴的です。このような散居村を有する全国の 8 自治体の首長や議長等が出雲市に集い、令和 6 年 10 月 21 日・22 日の 2 日間で「第 16 回全国散居村サミット in 出雲」が開催されました。

サミットでは、「美しい散居景観と交流人口・関係人口の創出」をテーマに、基調講演やパネルディスカッションが行われ、築地松景観の価値を地域で再認識することの必要性や観光資源としての活用策などについて議論されました。



## 築地松ホームページ

<https://www.tsuijimatsu.com/>

築地松ホームページでは、築地松に関する情報や協議会の活動内容を公開しています。

今回開催したフォトコンテストの入賞作品もご覧いただけます。

右記の二次元コード又は上記の URL からご覧ください。



## 築地松景観保全対策推進協議会